

反射材用品着用促進運動

～ 外出は 明るい笑顔と 反射材 ～

1 目的

夕暮れ時から夜間の時間帯における歩行者や自転車利用者の交通事故防止に効果の高い反射材用品の普及啓発を推進し、反射材用品の着用を県民全体に広げ、夕暮れ時から夜間における歩行者と自転車の事故防止を図る。

2 運動の重点

- (1) 歩行者、自転車利用者の反射材用品の着用の徹底
- (2) 反射材用品の着用の必要性と効果及び促進の広報啓発の推進



3 実施事項

歩行者・自転車利用者は

夕暮れ時や夜間に外出する際は、運転者から発見されやすい明るい目立つ色の服装を心掛けるとともに、衣服や靴、カバン等の身の回り品への反射材用品の着用を励行しましょう。

学校等では

- (1) 反射材用品を着用した場合、どのように見えるのかを確認させ、反射材用品の着用の必要性や効果について指導し、外出時は確実に着用することを習慣付けましょう。
- (2) 道路を横断する際は、反射材着用の有無に関係なく、必ず安全確認することを教えましょう。
- (3) 制服や運動着等に反射材が使用されたものを採用しましょう。

地域・家庭では

夜間の外出時には、明るい目立つ色の服装や反射材用品の活用等、運転者から発見されやすくなる工夫について考え、「自分の身は自分で守る」ことについて話し合しましょう。

職域では

職場で開催する交通安全講習会や各種行事等の機会を捉え、反射材用品の着用の必要性や効果の広報啓発を行い、職場総ぐるみで反射材用品の着用を励行しましょう。

自治体・関係機関・団体では

- (1) テレビ、ラジオ、新聞、機関紙(誌)等の各種広報媒体を活用し、本運動の広報啓発を推進しましょう。
- (2) 反射材用品の視認効果、使用方法等について理解を深めるため、各種交通安全運動、反射材効果体感型のキャンペーン、各種イベント等を通じた広報啓発を推進しましょう。
- (3) 高齢者世帯訪問による個別指導、高齢者等と接する機会等を利用して、反射材用品の着用が継続して行われるような交通安全指導を推進しましょう。
- (4) 衣服や靴、カバン等の身の回り品への反射材用品の着用を推奨するとともに、適切な反射性能を有する反射材用品について情報提供に努めましょう。

